

西欧型ガーデニング様式に関する豆知識

かながわ健生クラブ

西洋型ガーデニングの3様式

イタリア式

ルネサンス時代にフレンツェとローマで発達した庭園様式です。左右対称に草花や造形物を組み合わせる幾何学的なデザインが特徴で、一例として「メディチ家別荘カステッロの庭」があります。

フランス式

左右を対称に草花や造形物を組み合わせる幾何学的なデザインが特徴で、人工的に美しい庭を作り出す様式。

権力者たちにとって、支配する世界の広さを示す証であり、壮大な見晴しが重要なポイント。

フランス式最高傑作が「ベルサイユ宮殿」の庭園です。

英国式(イングリッシュガーデン)

自然なままの姿を楽しむための様式として イギリスで独自に発展しました。

木は刈り込むことなく自然に伸ばし、池等も自然にあるかのように風景を作り出していく様式。

横浜イングリッシュガーデン

イングリッシュガーデンの代表例の一つで、神奈中電鉄古河電線駅跡の鉄道史跡に在る綺麗なイングリッシュガーデン(英国式植物庭園)です。その設立歴史は昭和初期に「古河電工の工場」用として現在の平沼駅～西横浜の間に「古川電線駅」を設営。その工場と駅の跡地の借地権をTVKが取得し、現在の住宅展示場やイングリッシュガーデンが開園されました。

横浜イングリッシュガーデンは歴史こそ浅いもの、庭園としてはトップレベルの植物園といえます。

日本の気候に合った横浜イングリッシュガーデンのおすすめ植物は次の通りです。

・バラ・斑入りキボウシ(ホタス)・ラベンダー・ベチュニア・クレマチス・チェリーセージ(サルビア、ミクロフィラ)・シギタリス等、1700品種、2000本以上のばらを中心に、横浜の気候にあった草花や樹木を散りばめて、春の芽吹きから枯れゆく秋の自然の風景を何年もかけて育てています。



イングリッシュガーデン



ベルサイユ宮殿